

令和2年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

在宅介護実態調査結果の分析に関する調査研究事業

全国の在宅介護実態調査データの 集計・分析結果〔追加集計〕

新たな視点で追加集計を行いました。集計テーマは以下の通りです。

- ① 人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？
- ② （認知症自立度別の）在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？
- ③ 「在宅で生活が継続できる」と考えている要介護者の割合の地域ごとのバラツキは？
- ④ 「施設等の検討状況」の経年変化は？
- ⑤ 「主な介護者の就労継続の意向」の経年変化は？

令和2年9月

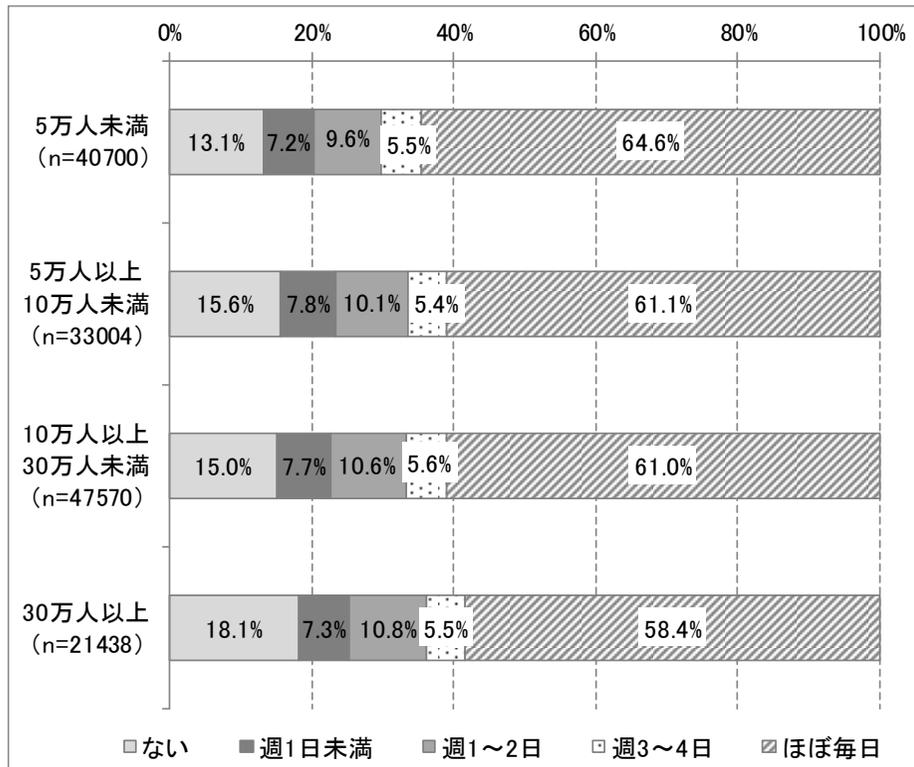
三菱UFJリサーチ&コンサルティング

追加集計①:人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？

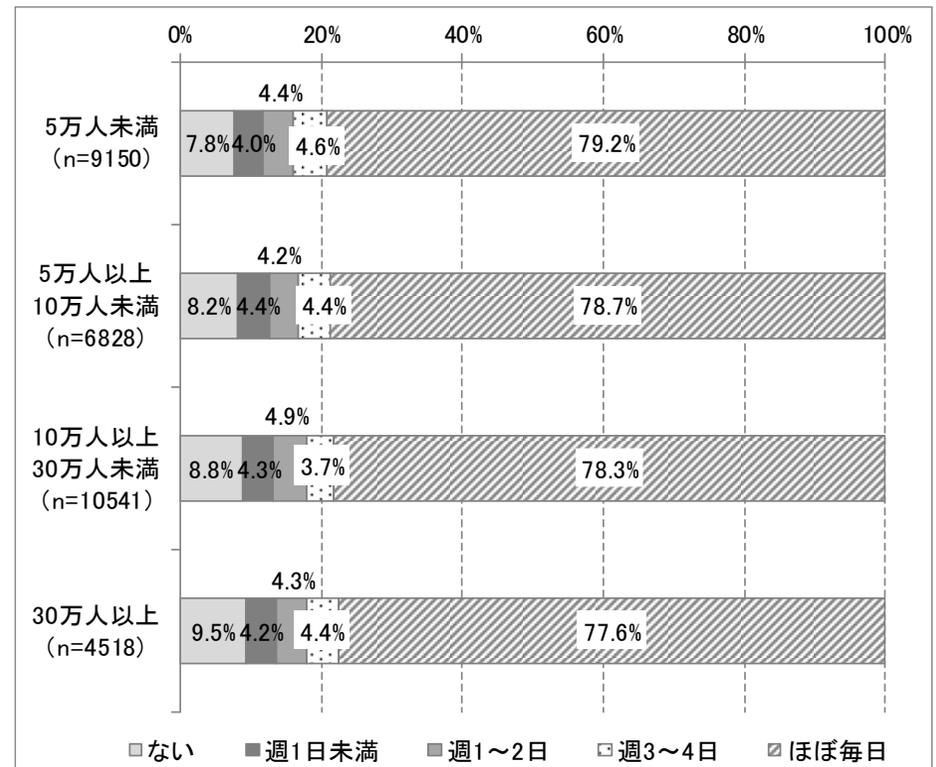
人口規模が大きいほど、家族等の介護の頻度はやや低くなる傾向

- 人口規模別に家族等の介護の頻度についてみたところ、人口規模が大きいほど、家族等の介護の頻度はやや低くなる傾向がみられました。
- 一方で、要介護3以上についてみた場合は、人口規模別に大きな違いはみられませんでした。

図表 人口規模別・家族等の介護の頻度



図表 人口規模別・家族等の介護の頻度(要介護3以上)

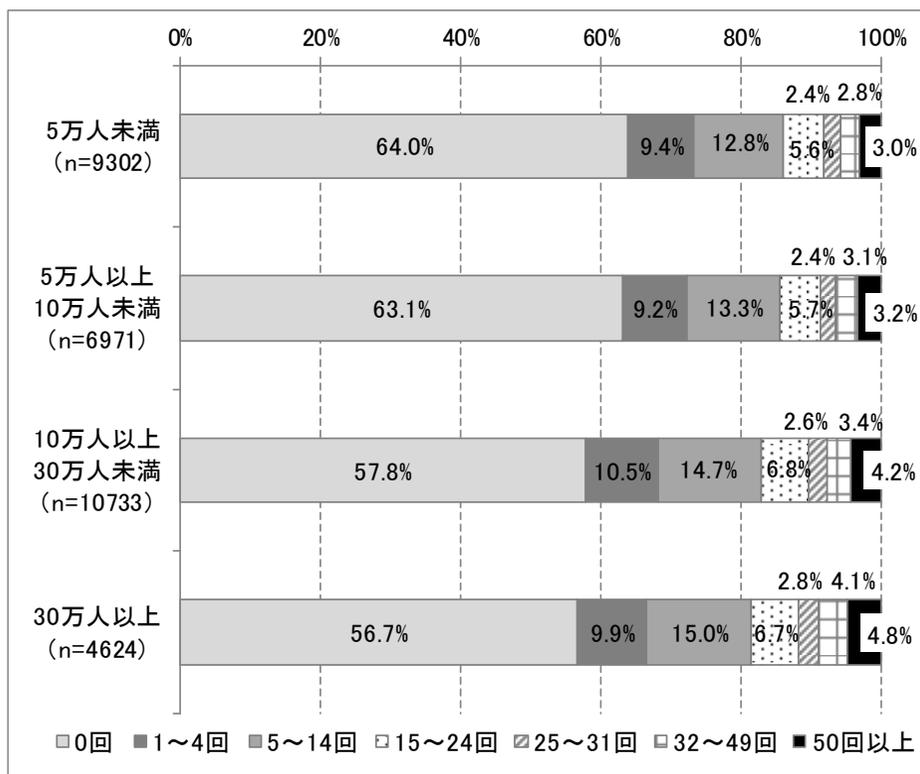


追加集計①:人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？

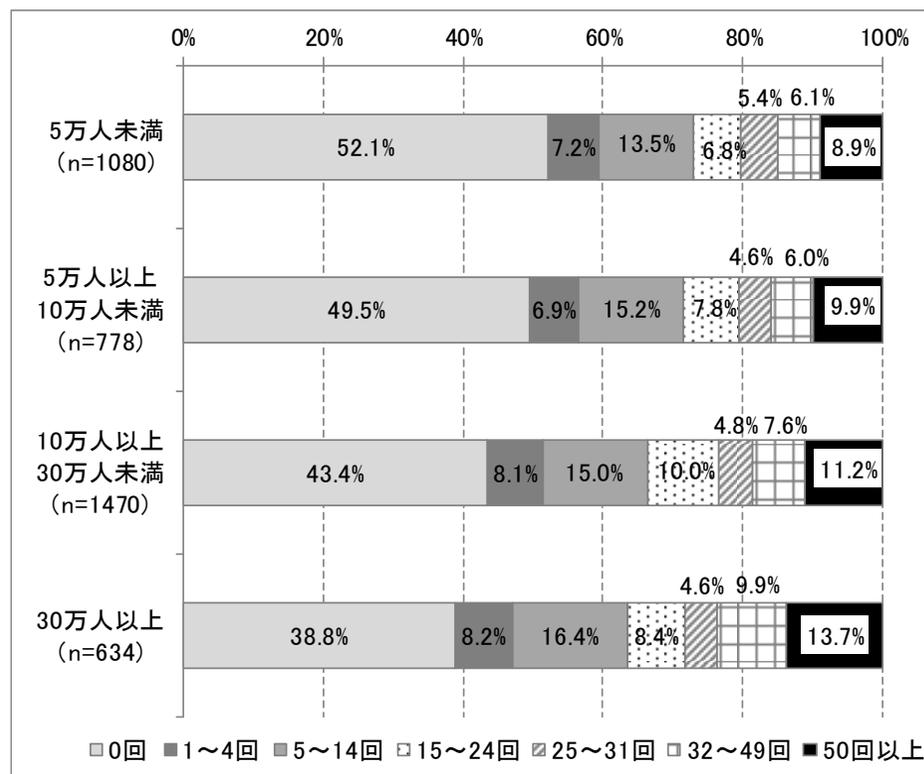
人口規模が大きいほど、訪問系サービスの利用回数が多くなる傾向

- 人口規模別に訪問系サービスの利用回数についてみたところ、人口規模が大きくなるほど、サービス利用回数が多くなる傾向がみられました。地域ごとに介護サービスの資源量には濃淡があり、その結果がサービスの利用回数にも影響していることが考えられます。
- なお、この傾向は、単身世帯においてより顕著です。

図表 人口規模別・訪問系サービスの利用回数 (要介護3以上)



図表 人口規模別・訪問系サービスの利用回数 (単身世帯・要介護3以上)

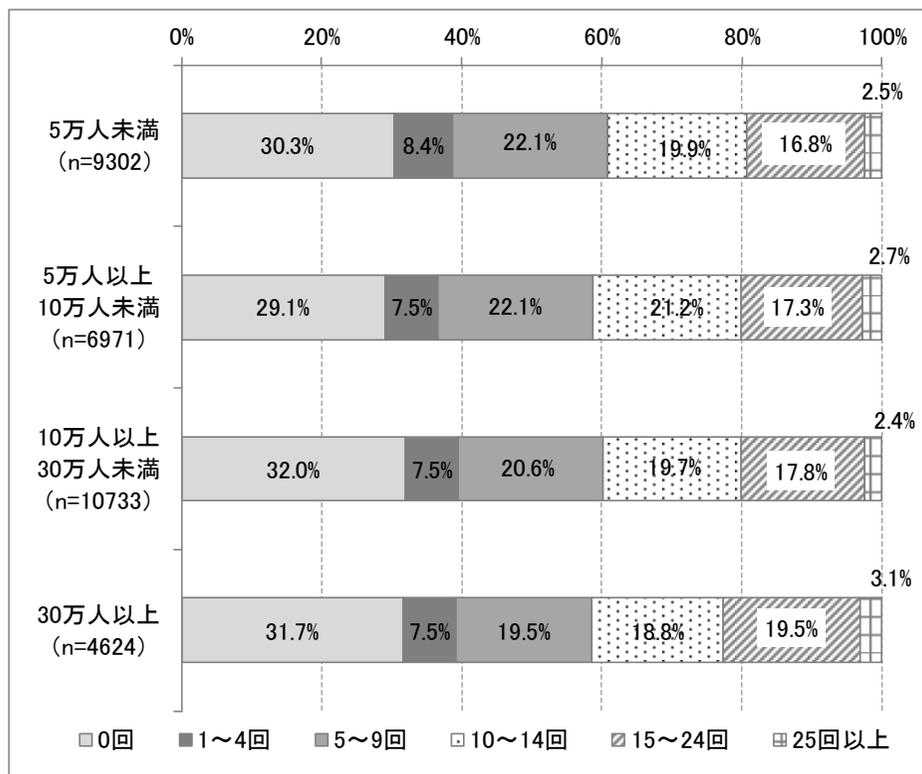


追加集計①:人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？

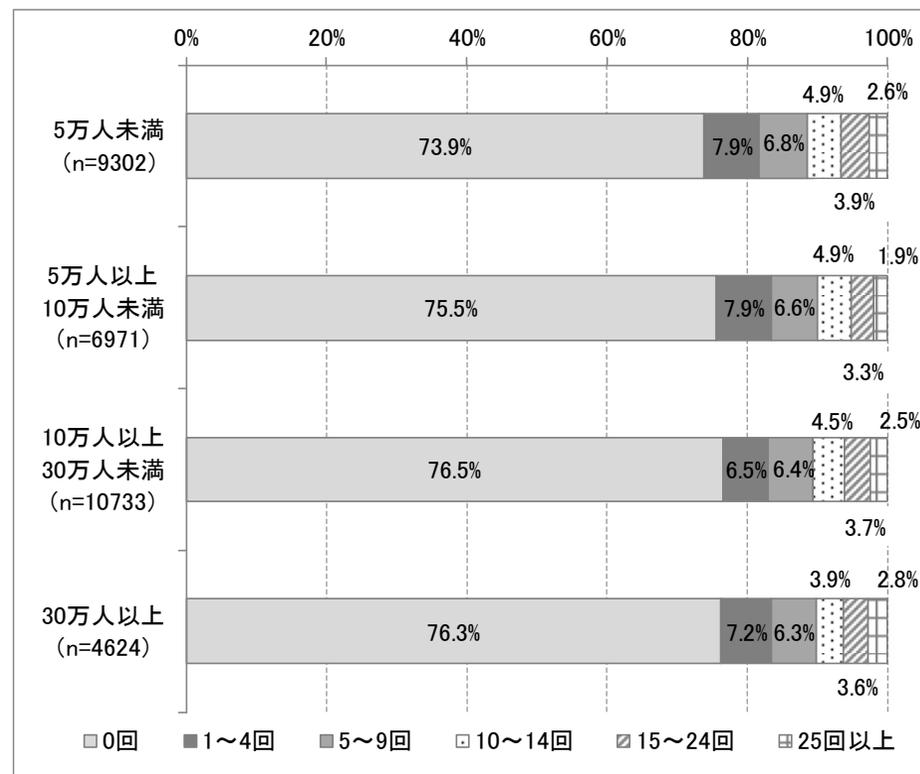
通所系・短期系サービスの利用回数は、人口規模による違いはみられない

- 人口規模別に通所系・短期系サービスの利用回数についてみたところ、人口規模別には大きな違いはみられませんでした。
- 通所系・短期系サービスでは、訪問系サービスとは異なり、地域ごとの介護サービスの資源量の濃淡や、それに伴うサービスの利用回数への影響は大きくはみられなかった。

図表 人口規模別・通所系サービスの利用回数（要介護3以上）



図表 人口規模別・短期系サービスの利用回数（要介護3以上）

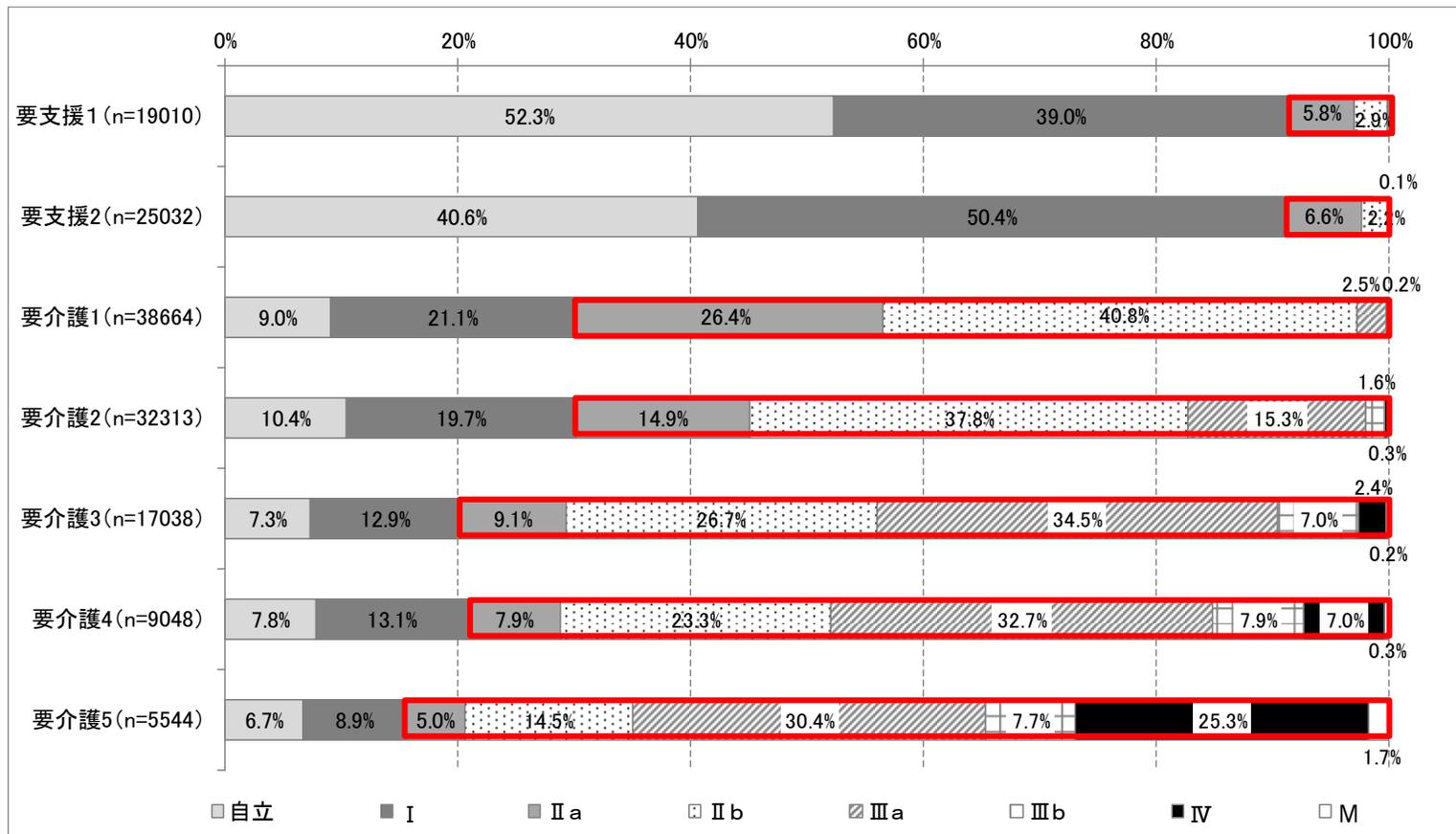


追加集計②:(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

要介護度別の認知症高齢者の日常生活自立度

- 要介護度別の認知症高齢者の日常生活自立度をみると、Ⅱ以上の割合は、要支援1で8.7%、要支援2で9.0%、要介護1で69.9%、要介護2で69.9%、要介護3で79.8%、要介護4で79.1%、要介護5で84.5%でした。

図表 要介護度別・認知症高齢者の日常生活自立度

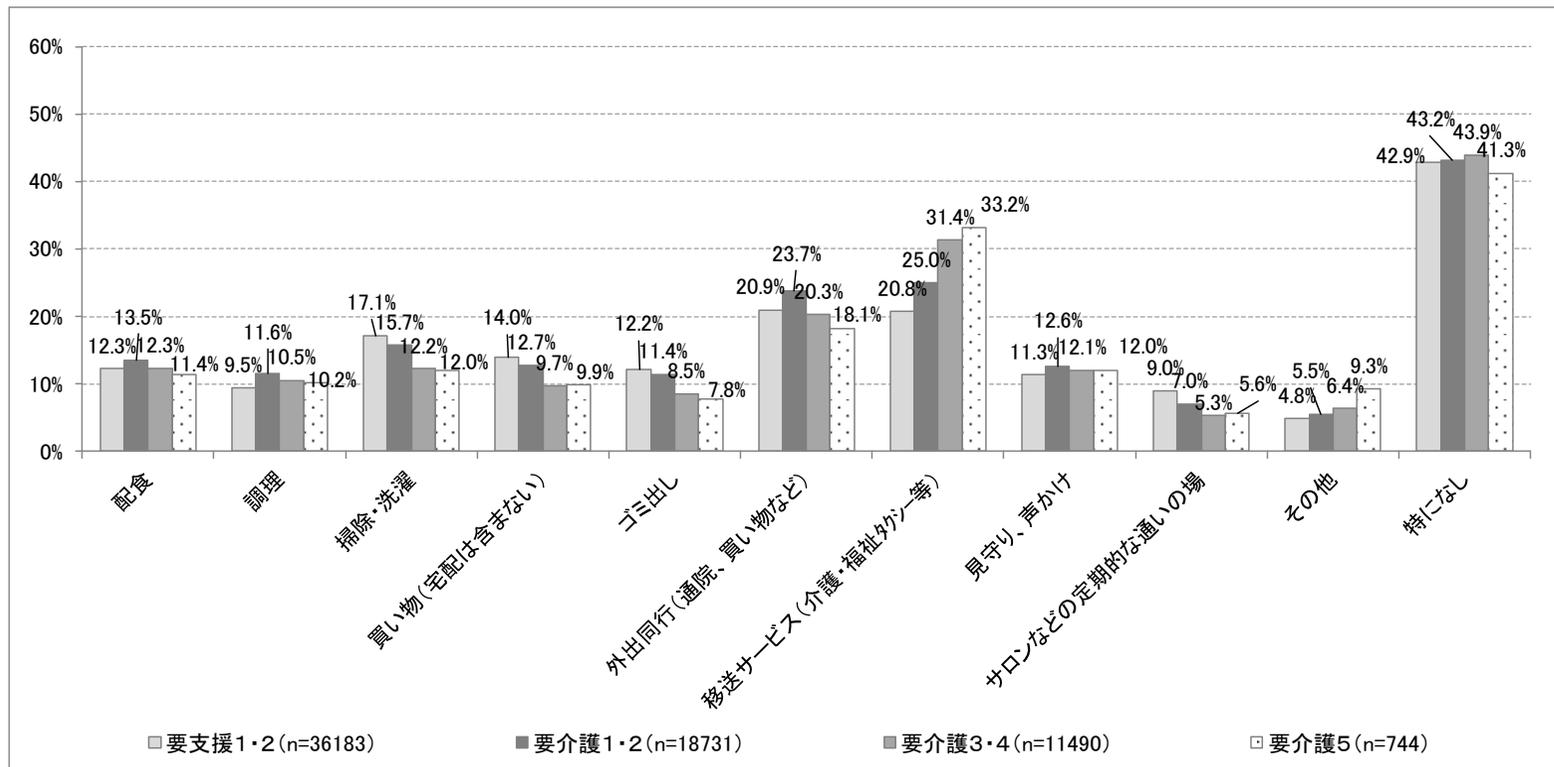


追加集計②:(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

認知症自立度 I 以下で「必要と感じる支援・サービス」は、「移送サービス」と「外出同行」が高い

- 認知症自立度 I 以下について、「在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス」を要介護度別にみたところ、すべての要介護度で、他の項目と比較して「移送サービス（介護・福祉タクシー）等」もしくは「外出同行（通院、買物など）」の割合が高くなっていました。
- また、「移送サービス（介護・福祉タクシー）等」については、要介護度が高くなるほど、ニーズが高くなる傾向がみられました。

図表 要介護度別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(認知症自立度 I 以下)

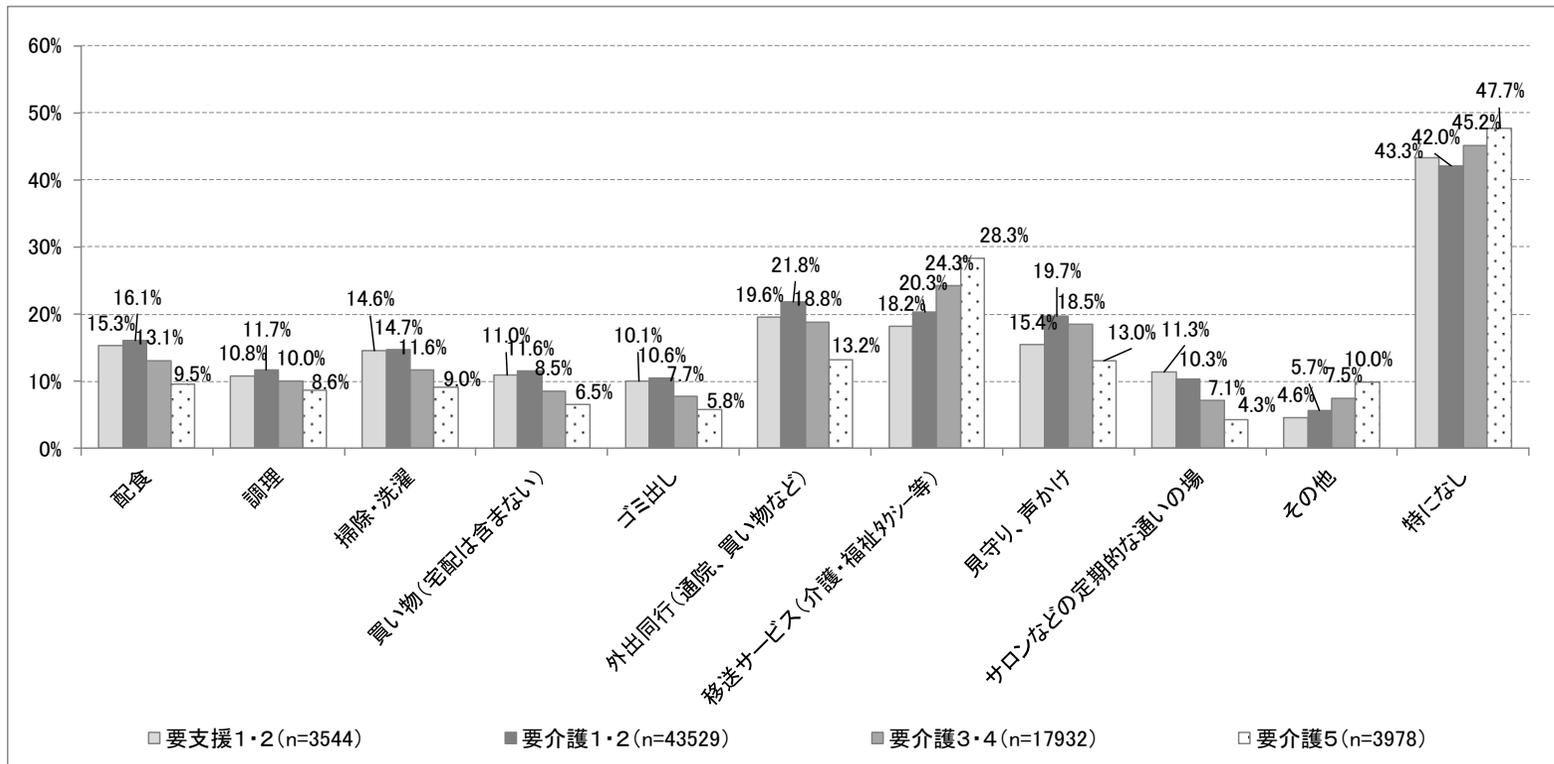


追加集計②:(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

認知症自立度Ⅱ以上で「必要と感じる支援・サービス」についても、「移送サービス」と「外出同行」が高い

- 認知症自立度Ⅱ以上について、「在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス」を要介護度別にみたところ、(前ページの)認知症自立度Ⅰ以下と同様に、すべての要介護度で、他の項目と比較して「移送サービス(介護・福祉タクシー)等」もしくは「外出同行(通院、買物など)」の割合が高くなっていました。

図表 要介護度別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(認知症自立度Ⅱ以上)

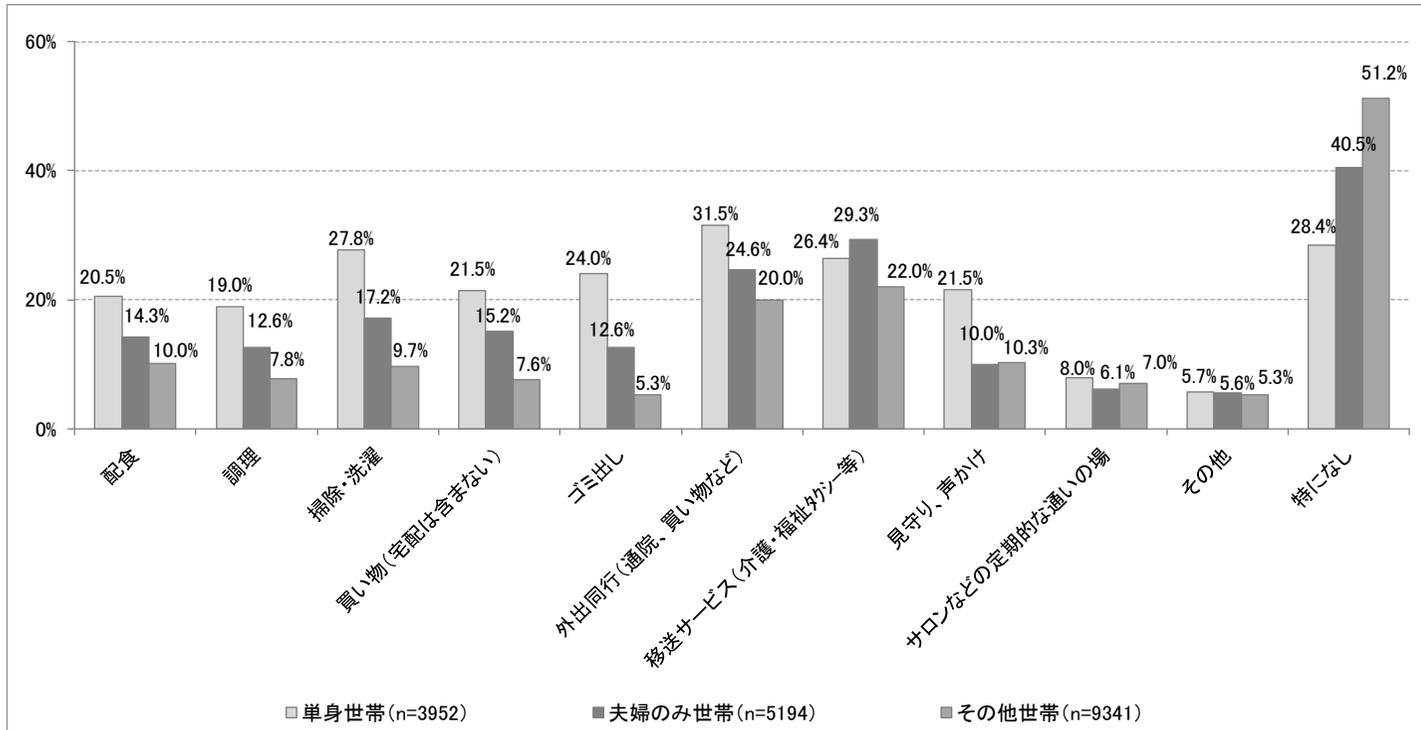


追加集計②:(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅰ以下について、単身世帯では「外出同行」・「掃除・洗濯」のニーズが高い

- 要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅰ以下について、世帯類型別に「在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス」をみたところ、「単身世帯」では、「移送サービス」以外のすべての項目において、「夫婦のみ世帯」や「その他世帯」よりも割合が高く、ニーズが高い傾向がみられました。
- また、「単身世帯」では、「特になし」の回答割合が、「夫婦のみ世帯」や「その他世帯」よりも低くなっており、ニーズが高い傾向がみられました。

図表 世帯類型別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(要介護1・2、認知症自立度Ⅰ以下)

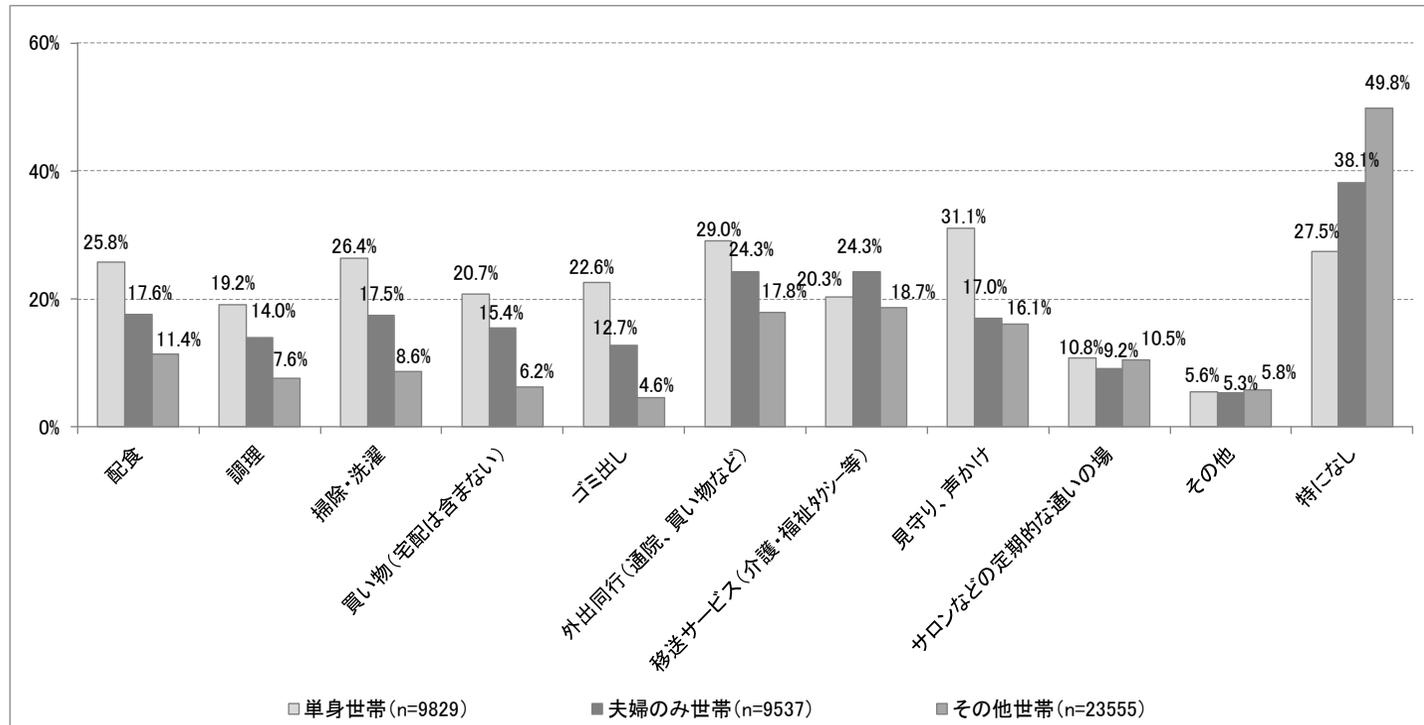


追加集計②:(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅱ以上について、単身世帯では「見守り、声掛け」のニーズが高い

- 要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅱ以上について、世帯類型別に「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」をみたところ、「単身世帯」では、特に「見守り・声掛け」のニーズが高い傾向がみられました。

図表 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(要介護1・2、認知症自立度Ⅱ以上)

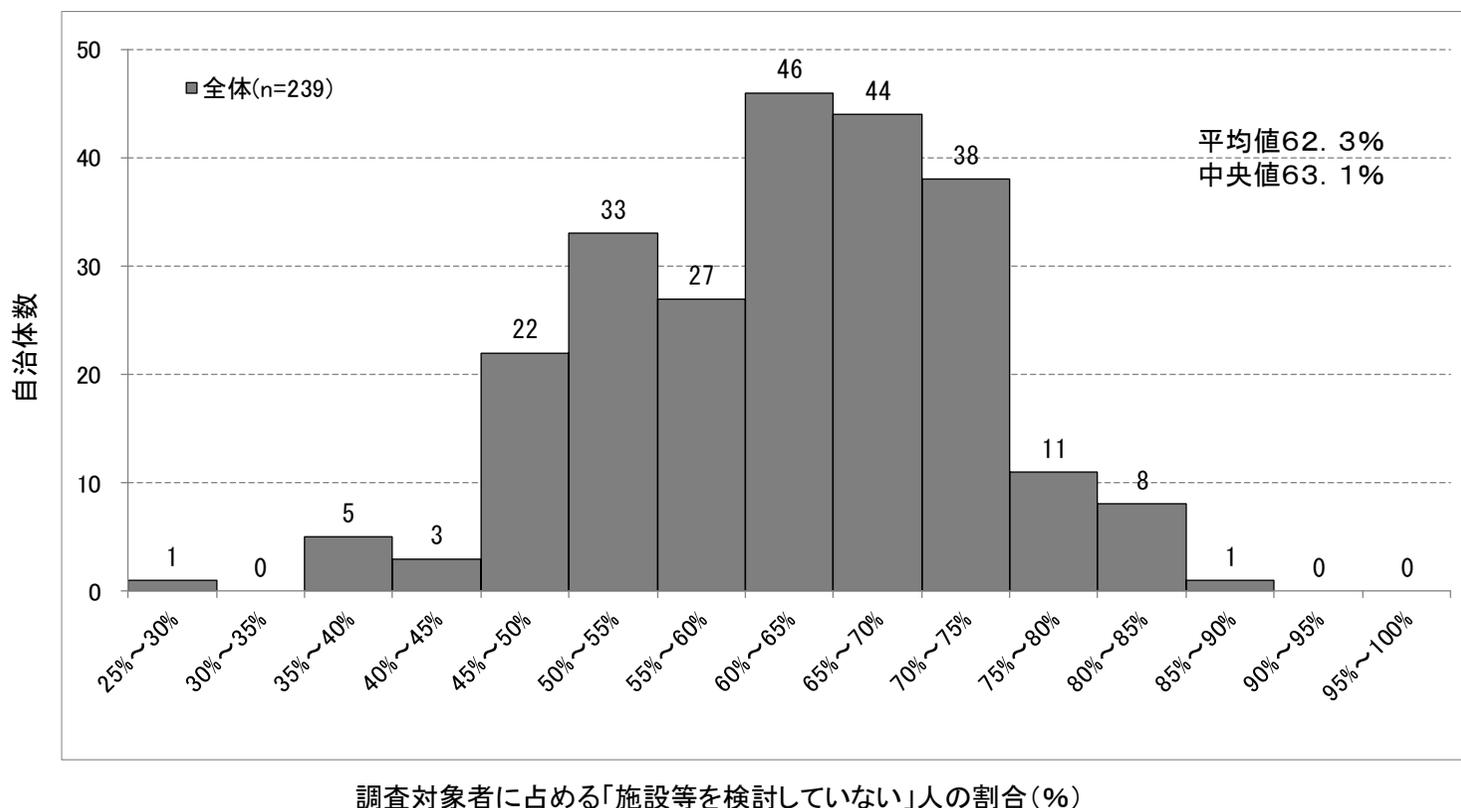


追加集計③:「在宅で生活が継続できる」と考えている要介護者の割合の地域ごとのバラツキは？

「施設等を検討していない人」の割合（要介護3以上）は、平均値は62.3%、中央値は63.1%

- 調査対象者（要介護3）に占める「施設等を検討していない」人の割合についてみたところ、最も多いのは「60～65%」の46自治体、次いで「65～70%」の44自治体、「70～75%」の38自治体でした。
- また、平均値は62.3%、中央値は63.1%でした。

図表 施設等「検討していない」割合別の自治体数(要介護3以上)

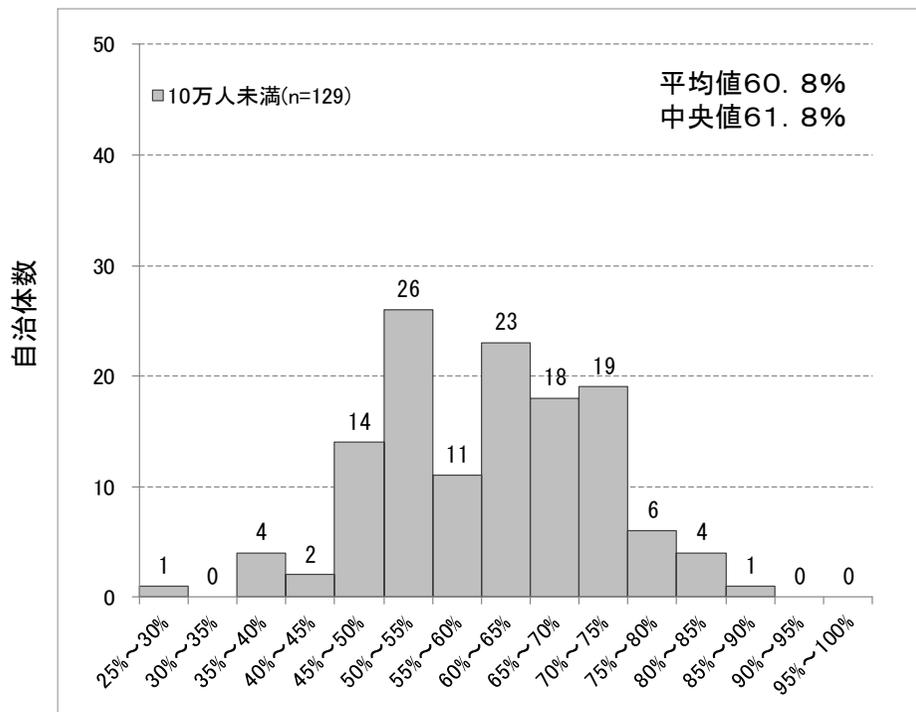


追加集計③:「在宅で生活が継続できる」と考えている要介護者の割合の地域ごとのバラツキは？

「施設等を検討していない人」の割合（要介護3以上）は、人口規模10万人以上の方がやや高い

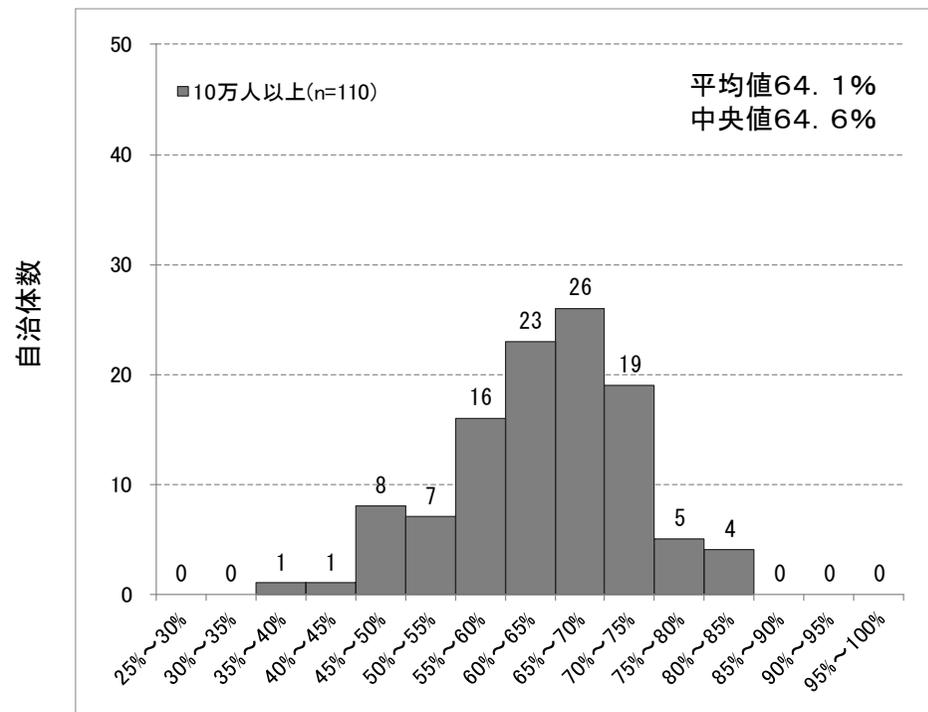
- 調査対象者（要介護3）に占める「施設等を検討していない」人の割合についてみたところ、人口規模10万人未満の自治体では、50%~55%が最も多く、10万人以上の自治体では65%~70%が最も多くなっていました。
- また、人口規模10万人未満では平均値は60.8%、中央値は61.8%、人口規模10万人以上では平均値は64.1%、中央値は64.6%でした。

図表 施設等「検討していない」割合（**要介護3以上・10万人未満**）



調査対象者に占める「施設等を検討していない」人の割合 (%)

図表 施設等「検討していない」割合（**要介護3以上・10万人以上**）



調査対象者に占める「施設等を検討していない」人の割合 (%)

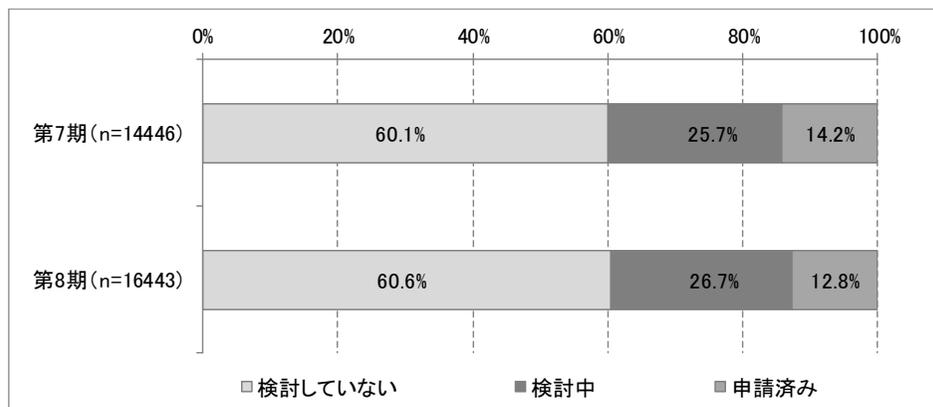
追加集計④:「施設等の検討状況」の経年変化は？

第7期と第8期の比較で「申請済み」の割合は微減も、大きな変化はみられない

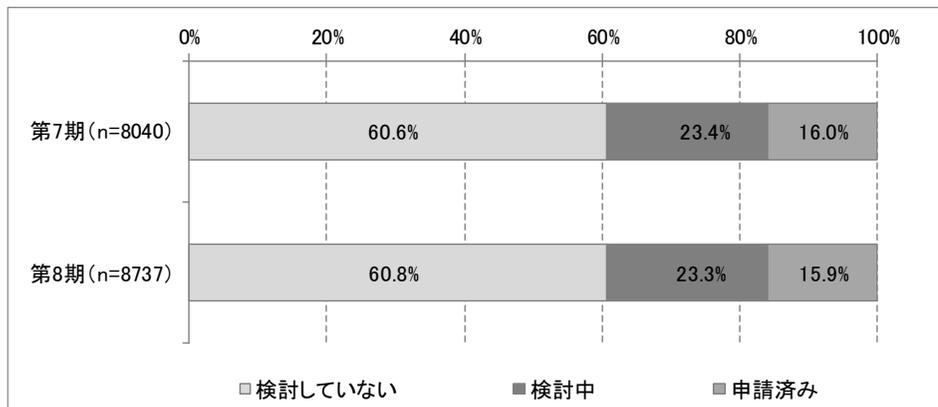
- 第7期と第8期の施設等の検討状況（要介護3～5）を比較したところ、「申請済み」の割合はいずれの要介護度においても僅かに微減しましたが、大きな変化はみられませんでした。

図表 第7期と第8期の「施設等の検討状況」の比較

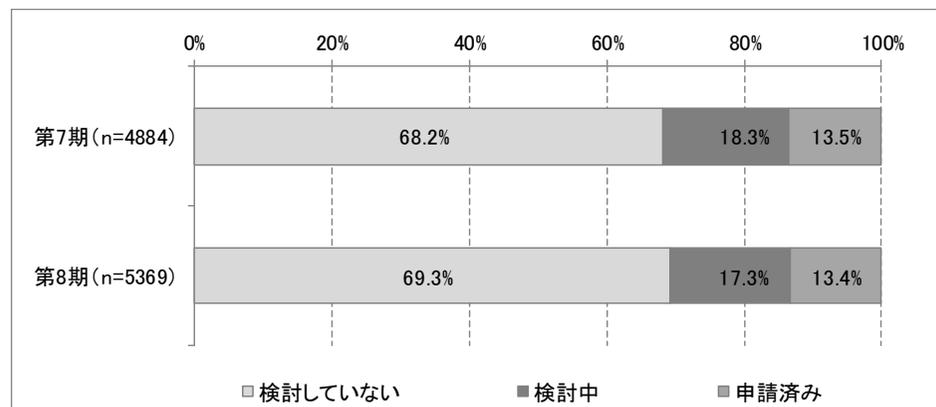
【要介護3】



【要介護4】



【要介護5】



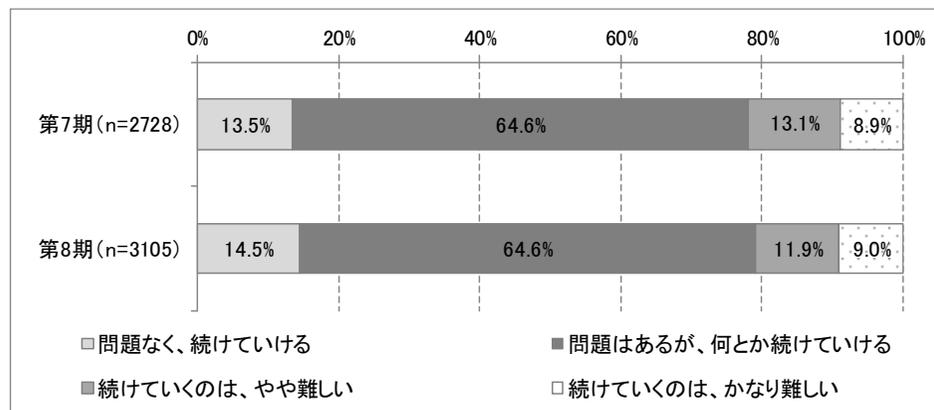
追加集計⑤:「主な介護者の就労継続の意向」の経年変化は？

第7期と第8期の比較で「続けていくのは、かなり難しい」の割合は要介護4・5でやや減少

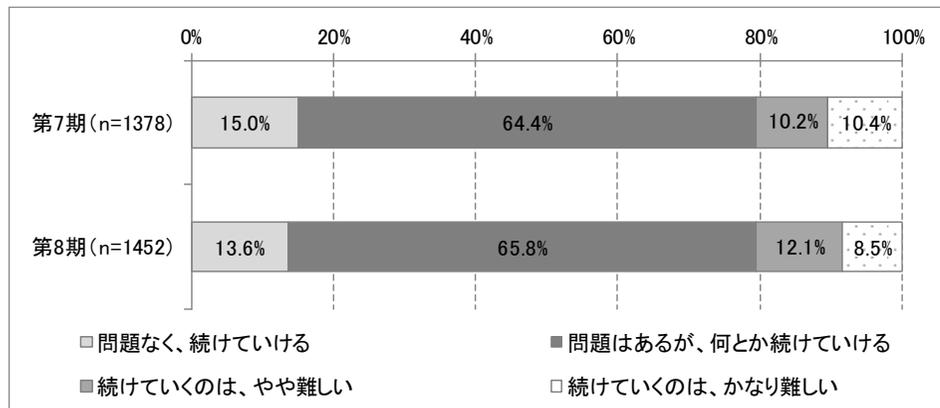
- 第7期と第8期の主な介護者の就労継続の意向（要介護3～5）を比較したところ、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は要介護4で1.9ポイント、要介護5で1.8ポイント減少しました。

図表 第7期と第8期の就労継続の意向の比較(フルタイム勤務)

【要介護3】



【要介護4】



【要介護5】

